

共通：熊本市現代美術館の管理運営業務 【平成28年度実績一覧】

ア 美術館にずっと居たくなる交流・サービス業務

1 美術館の基本的な管理・運営業務（居場所づくり）

		内 容			
美術館運営	美術館マネジメント	来館者案内・サービス・館内警備、入場者・入場料管理・分析等			
		朝礼（毎日）、職員ミーティング（週1）、館内スタッフ（月1）等による情報共有			
	研修	5月25日	「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業 第1回全体会議	「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」実行委員会 ※ 公3 4 (1) に再掲	秋岡 事務局長 (含発表)
		6月1日	地震復興計画策定座談会（中央区）	熊本市	岩崎千
		6月16日～17日	第38回文化財の虫菌害・保存対策研修会（IPMコーディネーター資格取得）	公益財団法人 文化財虫菌害研究所	杉谷
		7月14日	地震勉強会	熊本大学 政策創造研究教育センター 田中尚人研究室	岩崎千
		8月3日	震災復興計画検討委員会（傍聴）	熊本市	岩崎千
		8月10日	熊本市中央区まちづくり懇話会	熊本市中央区	岩崎千
		8月30日	震災復興フォーラム	熊本大学	岩崎千
		9月21日	震災復興計画検討委員会（傍聴）	熊本市	岩崎千
		9月30日	第1回 人権・同和問題ワークショップ	熊本市人権協 人権啓発担当者養成研修会	野口次 長・松本
		10月3日	教育普及研修会	九州産業大学美術館/熊本県立美術館	坂本
		11月15日	改正労働基準法対策セミナー	株式会社オービックビジネスコンサルタント	杉谷
		12月13日-15日	「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」調査・情報収集	「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」実行委員会	岩崎美・ 坂本
		1月12日	ユニバーサル・ミュージアム研修会	九州産業大学美術館/宮崎県立美術館	坂本
		2月1日	「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業 第2回研修会	「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」実行委員会 ※ 公3 4 (1) に再掲	プロパー 全員(岩崎 千・富澤 含発表)
		2月2日	CCRC勉強会 Continuing Care Retirement Community（継続介護付きリタイア メント・コミュニティ）	熊本市	岩崎千
	3月2日	熊本県立劇場 震災報告会 熊本地震を振り返る 地域の文化ホールでおきたこと	熊本県立劇場	岩崎千	
	3月9日	くまもとアートポリスシンポジウ ム「仮設を超えて—災害公営住宅 とみんなの家—」	青年会館ホール	坂本	
	3月18日	熊本県立劇場アートキャラバンく まもと×熊本大学ましきラボ×益 城町未来トーク 平田オリザさんと“かたる”～小 さなマチの新しい未来～	熊本県立劇場	岩崎千 岩崎美	

1 美術館の基本的な管理・運営業務（居場所づくり） *つづき

内 容		
来館者ニーズ調査・対応	来館者、電話、メールの問い合わせ等対応	
	アンケート実施・集計・回答等	1,440件
	ナイストライ（職場体験）受け入れ	東野中学校2年生3人（2日間：9月7日-8日）
		白川中学校2年生3人（2日間：9月14日-15日）
インターンシップ受け入れ	中央高等学院2人（10月3日）	
施設管理	ホームギャラリー管理・運営	開架書籍の整理 市民の問い合わせへの対応（レファレンス）
	アートスカイギャラリー管理・運営	熊本出身のマンガ家や「くまモン頑張れ絵」を描いたマンガ家によるマンガの開架
		「くまモン頑張れ絵」紹介
		折り紙、ぬり絵等の自由参加型ワークショップの開催
	キッズファクトリー、子育てひろばの管理・運営	子育てひろばの運営協力
	花壇（正面玄関外）の管理、苗の植え替え	県立熊本支援学校の生徒による花壇の苗の植え替え作業への協力（2回：6月2日、11月8日）
	施設貸出（予約・設備準備・支払等） ※収益事業再掲	会議研修室（423件）
		アートロフト（315件）
施設・設備の管理、点検、修繕等	セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等設備修繕（10件）	
熊本地震による工事及び点検	【工事】 1. 天井：館内全体のボルトの増し締め、金具交換 エントランス、ホームギャラリー、GⅡ・Ⅲ、授乳室の張替、塗装 2. 壁：エントランス、ホームギャラリー、ギャラリーⅢ、井手室、バックヤードのひび、剥がれ等補修、塗装 3. 空調設備：会議室、機械室、清掃員控室、授乳室 4. 電気設備：館内全体の復旧、補修、清掃 5. 給排水設備：館内全体のスプリンクラー確認、授乳室、ギャラリーⅢ落下など復旧 6. 扉：館内全体の安全・建付調整、ギャラリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・会議室復旧 【点検】 ギャラリーⅠ・Ⅱ・Ⅲの移動展示パネル点検	
美術館スタッフによるIPM	展示室、收藏庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置によるモニタリング。 毎月の收藏庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング（掃除機、ドライワイパー使用）。 收藏庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測。 展示室（GⅠ、GⅡ）の展示期間中のデジタルロガー計測。	

イ 美術館にもっと来たくなる交流・サービス

1 情報発信

内 容	分 類	詳 細	
美術館や事業の広報	発信	美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
		展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
		ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 熊本市現代美術館 http://www.camk.or.jp
		twitter、facebook等	維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 美術文化振興財団 http://www.kcac-pf.jp
	提供	メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
		紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
		ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791（週1回レギュラー）
		市政だより、市facebook等	記事提供

2 市民主体の交流・サービス（たまり場機能）

（1）ボランティア活動等（日常）

種 類	活 動 内 容	人 数（内訳）	合 計 人 数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	45人	213人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	14人	
資料整理	新聞等資料のチェック、切り抜き等	16人	
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	35人	
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	55人	
よみがたり	絵本などのよみがたり	18人	
イベント・展示作業補助	展覧会の作品展示作業補助、イベント補助等	30人	

（2）ボランティア研修等

研 修 等	活 動 内 容	開 催 日	参 加 人 数
総会	CAMKEES総会（活動内容について）	6月10日	19人
研修	新規登録ボランティア研修①	10月13日	15人
研修	新規登録ボランティア研修②	10月16日	14人
研修	福岡市美術館ボランティアとの交流会（※被災報告等含む）	10月30日	40人
総会	CAMKEES総会（活動内容について）	12月10日	17人
新年会	CAMKEES新年会	1月19日	50人
合 計			155人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種別	内容		開催日	参加人数
定例映画上映会	月曜ロードショー ※ 地震後5/16より再開 (14:00のみ)、6/6より2 回(14:00-、17:00-)に 増回	毎週月曜 14:00-、17:00-の2回 上映権付の映画上映	44回/年(毎週月曜日)	4,059人
特別上映会	子ども向け上映会	毎週土・日曜ほか 10:30-の1回ほか 上映権付の映画上映	38回/年(毎週土・日曜ほか) ※地震後5/14-9/18まで開催	2,459人
	プラネタリウム番組上映 会『くまモンのほしぞら おもちゃばこ』	特別協力：熊本市立熊本博物 館	6月26日	300人
	チャリティ上映会『LIGHT UP NIPPON -日本を照らし た奇跡の花火-』	主催：菊池川流域さらくnet. 共催：LIGHT UP NIPPON実行委 員会、熊本市現代美術館	10月10日	92人
	チャリティ上映会『うつ くしいひと』	主催：菊池川流域さらくnet. 共催：熊本市現代美術館 協力：くまもと映画製作実行 委員会	11月14日	234人
合 計				7,144人

(2) 音楽・朗読イベント

種別	内容		開催日	参加人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート ※ 地震後5/11より再開	毎日(19:00-19:30) ボランティアによるピアノ演 奏会	240回/年(毎日)	-
	CAMKピアノコンサ ート Vol.19	ピアノボランティアによる演 奏会	7月9日	40人
	CAMKピアノコンサ ート Vol.20	ピアノボランティアによる演 奏会	2月25日	45人
詩の朗読会 ※ 地震後6月より再開	毎月テーマを決めて自作 の詩を発表しあう詩の朗 読会 (飛び入り参加も可)	第149回 (テーマ：ファンタジー)	6月23日	13人
		第150回(テーマ：アルバム)	7月28日	15人
		第151回(テーマ：光)	8月25日	19人
		第152回 (テーマ：果実)	9月22日	8人
		第153回(テーマ：城)	10月27日	8人
		第154回(テーマ：窓)	11月24日	6人
		第155回(テーマ：サンタ・ク ロースの家)	12月22日	10人
		第156回(テーマ：パレード)	1月26日	9人
		第157回 (テーマ：コレクション)	2月23日	11人
第158回(テーマ：鳥(酉))	3月23日	6人		
合 計				190人

(3) お楽しみイベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
お楽しみイベント	GAMK人形劇『桃太郎』（劇団ぱれっと）		8月31日	220人
読みがたり ※ 地震後5月より再開	当館ボランティアによる 絵本の読みがたり、紙し ばい、手遊び歌など	第80回 （テーマ：ふしぎな世界）	5月21日	37人
		第81回（テーマ：びちびち ちゃ ぷちやぶ）	6月4日	57人
		第82回 （テーマ：もうすぐ夏休み）	7月16日	42人
		第83回 （テーマ：おばけだぞ～）	8月20日	57人
		第84回 （テーマ：まほうの国）	9月17日	52人
		第85回 （テーマ：いろいろなうち）	10月15日	65人
		第86回 （テーマ：みのりの秋）	11月19日	34人
		第87回 （テーマ：クリスマス）	12月17日	57人
		第88回 （テーマ：日本のおはなし）	1月7日	47人
		第89回 （テーマ：きらきら）	2月18日	15人
		第90回 （テーマ：ぼかぼか）	3月18日	8人
子育てひろば ワークショップ ※ 地震後6月より再開	リフレッシュ親子ヨガ	親子でヨガをしてリフレッ シュするワークショップ	6月30日	27人
	パラバルーンで 親子で楽しく遊ぼう	パラバルーンを使って親子で 楽しく遊ぶワークショップ	7月14日	28人
	親子で作って遊ぼう	身近な材料を使って、竹とん ぼや笛、おもちゃなどを作る ワークショップ	8月25日	22人
	親子でわくわく音楽あそ び	親子で音楽を楽しむワーク ショップ	9月15日	36人
	親子でアートを楽しもう	小麦粉の特性を使って、親子 で作品作りを楽しむワーク ショップ	10月20日	22人
	お話し会と親子あそび	転入者とその子どもを対象に 自己紹介やゲームで交流す る、出会いの場づくり	11月17日	26人
	親子で挑戦！ フラワーアレンジメント	親子で協力してフラワーアレ ンジメントに挑戦するワーク ショップ	12月15日	21人
	英語であそぼうABC	親子で英会話を楽しむワーク ショップ	1月20日	31人
	親子でアートを楽しもう	絵の具をつかって、いろんな 色や、技法に触れるワーク ショップ	2月16日	32人
親子ふれあいあそび	親子でできる手遊びや歌遊び を取得するワークショップ	3月19日	38人	
子育てひろば 連携ワークショップ	LEGOブロックであそぼう	LEGOジャパンより、熊本の子 どもたちに寄付されたLEGOブ ロックをつかったワーク ショップ	7月23日-24日	1,006人
			合 計	1,980人

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業 【平成28年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー（ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会）

(1) ギャラリーⅠ・Ⅱ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
だまし絵王エッシャーの挑戦状 ダリ・マグリット・福田繁雄から現代のイリュージョニストまで	だまし絵の巨匠M.C.エッシャーを中心に、作品上で不思議な世界を作り出した古今の作家達の作品、約200点を展示。 本来は4/9-6/12という会期の予定だったが、4/14からの熊本地震により、中断。その後、5/18より会場を変え内容を再構成し、G3・井手記念ギャラリーにて「だまし絵王エッシャーの挑戦状（特別展示）」として再公開された。	4/9-4/14（5日間） ※ 地震により中途中止	2,256人
かえってきた！魔法の美術館 かがやけ、くまもとの笑顔たち	「見て」「触れて」「参加」できる、最新のデジタル技術を駆使したメディア・アート作品を一堂に集めた「魔法の美術館」は2013年に続き2回目の開催。日本を代表するメディアアーティストの作品17点を紹介。熊本出身作家緒方壽人によって地震を契機とした新作が発表された。	6/25-9/19（75日間）	61,680人
ジブリの立体建造物展	スタジオジブリのアニメーションに登場する「建造物」にフォーカスし、そのデザインの源に迫る展覧会。監督が直々に作品の世界観を描いたイメージボードから、実際のアニメーションの撮影に使われた背景画まで、貴重な制作資料450点余りを展示。	10/8-2017/1/9（80日間）	203,671人
第28回熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも出品することができる公募展 審査員：ヤノベケンジ氏（現代美術作家） 出品総数：269点	1/28-2/12（14日間）	4,904人
GAMKコレクション展VOL.5 知っとるね？ くまもとのお宝、大公開てばい！	当館ならではの「くまもとのお宝級」の作品の、現代美術ならではの多様な表現を楽しみながら、「本当のくまもとのお宝とは何か？」を探るコレクション展。すべての作品は被災作品のためコンディションチェックも兼ねる。出品点数62点	2/18-3/26（32日間）	3,736人
合 計			276,247人

※ 第28回熊本市民美術展については、エで再掲

2 小ギャラリー（ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー）における展覧会

(1) ギャラリーⅢ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
淀川テクニック展 ゴミニケーション in 熊本！！	柴田英昭（1976年岡山県出身）と松永和也（1977年熊本県出身）によるアート・ユニット、淀川テクニックによる個展。熊本で拾ったゴミを使用した作品など約20点を展示。	4/1-4/14（12日間（2/9-開始）） ※地震により中途中止	1,568人 (6,816人)
だまし絵王エッシャーの挑戦状（特別展示）	熊本地震にともない、ギャラリーⅠ・Ⅱで開催していた「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展の展示作品の中からエッシャー作品約40点のみを抜粋して展示。	5/18-6/12（23日間）	14,020人
くまもと・カラフル	当館コレクションより、熊本出身の若手～中堅作家を中心としたカラフルな作品展、8作家15点を出品。震災後に年間スケジュールが変更し急ぎよ開催。	6/15-7/8（21日間）	3,032人
丸尾三兄弟「〇〇（マルオ）の食卓」	陶芸×アートで新しい天草をつくる「丸尾焼」の金澤佑哉（1982年生まれ／長男）、宏紀（1987年生まれ／次男）、尚宜（1989年生まれ／三男）の3人の若手陶芸家による、器とあなたの食卓の写真を交換する展覧会。	7/16～9/11（50日間）	11,845人
伊藤有紀恵展 カラーラブポップ	宮崎市出身・在住の若手作家、伊藤有紀恵の作品展。セロファン貼り絵、デジタル作画のプリントなど、デビュー作から最新作まで32点を出品。	9/14-11/7（48日間）	11,462人
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展	収蔵作品への地震による被害等を確認することを目的とした展覧会。公開でコンディションチェックを行うことにより美術作品被災について市民と共有する内容。58点を出品。	11/9-11/28（18日間）	1,939人
熊本市現代美術館コレクション展 形が変わることで見えるもの（見えないもの）	収蔵作品より、星加民雄、青木豊、梅本妙子、吉村益信、浅井裕介、秀島由己男、横尾忠則、高嶺格、仏山輝美の9作家10点を展示。	11/30-2017/2/26（75日間）	7,145人
3.11→4.14-16 アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本	アートポリスの「みんなの家」、坂茂らによる「避難所用・紙の間仕切りシステム」、日比野克彦の「ハートマーク・ビューイング」、村上タカシの「宮城熊本 伝えるプロジェクト」、遠藤一郎「未来龍熊本大空風」の5つのプロジェクトを軸に、東北等の災害時に生み出されたアートやデザインが、熊本でも新たなつながりを作り出す事例について紹介します。	3/1～3/31（～4/30）（27日間）	3,838人
合 計			54,849人

(2) 井手宣通記念ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
淀川テクニック展 ゴミニケーション in 熊本！！	柴田英昭（1976年岡山県出身）と松永和也（1977年熊本県出身）によるアート・ユニット、淀川テクニックによる個展。熊本で拾ったゴミを使用した作品など約20点を展示。	4/1-4/14（12日間（2/9-開始）） ※地震により中途中止	1,568人 （6,816人）
だまし絵王エッシャーの挑戦状（特別展示）	熊本地震にともない、ギャラリーⅠ・Ⅱで開催していた「だまし絵王エッシャーの挑戦状」展の展示作品の中からエッシャー作品約40点のみを抜粋して展示。	5/18-6/12（23日間）	14,020人
クマモト・カラフル	当館コレクションより、熊本出身の若手～中堅作家を中心としたカラフルな作品展、8作家15点を出品。震災後に年間スケジュールが変更し急ぎで開催。	6/15-7/8（21日間）	3,032人
日比野克彦 明後日朝顔プロジェクト in熊本10周年記念展	日比野克彦のアートプロジェクト「明後日朝顔プロジェクト」に参加してより、当館は今年で継続参加10周年を迎える記念展。コレクションや資料より、日比野克彦と熊本市民とのドラマチックな文化交流の軌跡を紹介。	7/16-9/18（56日間）	12,913人
江口寿史展 KING OF POP くまもと上通編	熊本出身のマンガ家・江口寿史の38年間の画業を振り返る展覧会。長崎書店など上通商店街の約40店舗が一斉に江口寿史の作品を展示し、地域全体に江口ワールドを展開した。	9/22-11/6（40日間）	10,095人
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展	収蔵作品への地震による被害等を確認することを目的とした展覧会。公開でコンディションチェックを行うことにより美術作品被災について市民と共有する内容。58点を出品。	11/9-11/28（18日間）	1,939人
熊本市現代美術館コレクション展 形が変わることで見えるもの（見えないもの）	収蔵作品より、星加民雄、青木豊、梅本妙子、吉村益信、浅井裕介、秀島由己男、横尾忠則、高嶺格、仏山輝美の9作家10点を展示。	11/30-2017/2/26（75日間）	7,145人
3.11→4.14-16 アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本	アートポリスの「みんなの家」、坂茂らによる「避難所用・紙の間仕切りシステム」、日比野克彦の「ハートマーク・ビューイング」、村上タカシの「宮城熊本 伝えるプロジェクト」、遠藤一郎「未来龍熊本大空風」の5つのプロジェクトを軸に、東北等の災害時に生み出されたアートやデザインが、熊本でも新たなつながりを作り出す事例について紹介します。	3/1~4/30（うち27日間）	3,838人
合 計			54,550人

3 エントランス・階段ギャラリー等における展覧会

(1) エントランス

展覧会名	展覧会内容	期間
今田淳子「HIGO-ROCK! HIGO-ROCCA!」第1弾 肥後花菖蒲	「誉のくまもと」展イベントとして、今田淳子が「肥後六花」を制作する作品展示第1回目。	5/25-6/27（30日間）
今田淳子「HIGO-ROCK! HIGO-ROCCA!」第2弾 肥後朝顔	「誉のくまもと」展イベントとして、今田淳子が「肥後六花」を制作する作品展示第2回目。	7/27-8/29（30日間）
今田淳子「HIGO-ROCK! HIGO-ROCCA!」第3弾 肥後菊	「誉のくまもと」展イベントとして、今田淳子が「肥後六花」を制作する作品展示第3回目。	9/28-10/24（24日間）
今田淳子「HIGO-ROCK! HIGO-ROCCA!」第4弾 肥後山茶花	「誉のくまもと」展イベントとして、今田淳子が「肥後六花」を制作する作品展示第4回目。	12/21-2017.1/16（22日間）
今田淳子「HIGO-ROCK! HIGO-ROCCA!」第5弾 肥後椿	「誉のくまもと」展イベントとして、今田淳子が「肥後六花」を制作する作品展示第5回目。	2017.2/22-3/20（24日間）
蛇口のある風景 フォトコンテスト	熊本市上下水道局が主催した「蛇口のある風景フォトコンテスト」の入賞作品を展示	10/19-11/21（30日間）
くまもとエンタメ支援金 チャリティーオークション アイテム展示会	（一財）mundefが「くまもとエンタメ支援金」へ寄付するため、著名な方々の品物のチャリティーオークションを開催。これらの品々を実際に見ていただくことで、熊本に元氣と笑顔を届けようという展示会。	2017.2/8-3/6（24日間）
NHK熊本×熊本地震「熊本地震 被災地からの声」 パネル展	熊本地震から1年を迎えるにあたり、県内各地で被災された方の思いをより多くの方に知っていただくため、NHK「クマロク!」番組内『熊本地震 被災地からの声』で取り上げた“声”を、写真やコメントとともに展示するパネル展。	2017.3/23-4/16（うち8日間）

(2) 階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
熊本大学教育学部附属 特別支援学校 中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品展	12/17-2017.1/6（16日間）
平成28年度人権啓発作品 受賞作品展	啓発・市民協議会が募集した、人権啓発作品のうち、受賞作品の展示	2017.1/20-2/23（30日間）
一新小学校 「新町獅子」展	熊本市立一新小学校児童が厚賀新八郎氏に指導を受けて制作した新町獅子の展示。協力：熊本大学教育学部	2017.2/25-3/31（30日間）

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか（商店街等）における公演

(1) 公開制作

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
伊藤有紀恵 公開制作	伊藤有紀恵展 カラーラブポップ	伊藤有紀恵によるセロファン画の公開制作。制作の秘密に迫る。	9月17日 10月11日	73人
合計			2回	73人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1) レクチャー・カレッジ

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
伊藤有紀恵の作品について	伊藤有紀恵展 カラーラブポップ	富澤治子（当館学芸員）	伊藤有紀恵作品の技法や作画方法、作風の展開などをスライドで解説。その後会場で個別に作品の魅力を紹介。	11月6日	20人
「お宝」をテーマとしたコレクション展から見たもの：地に足を付け、天を望む	CAMKコレクション vol.5 知っとるね？くまもとのお宝、大公開てばい！	富澤治子（当館学芸員）	震災後からコレクション展を構想し実現するまでの歩みや、本展出品作品みどころをスライドで解説。	2月26日	23人
合計			2回	43人	

(2) アーティスト・トーク

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
ジブリスペシャルレクチャー③ スタジオジブリ作品の美術監督によるプレミアムナイトツアー	ジブリの立体建造物展	武重洋二（美術監督）	多数のジブリ作品の美術監督を担当した作り手の立場から、ジブリ映画および出展作品について語るナイトツアー。レクチャー+会場内ツアーの形で開催。	10月21日 10月22日	60人
ジブリスペシャルレクチャー④ スタジオジブリ作品の撮影担当者によるレクチャー	ジブリの立体建造物展	藪田順二（スタジオジブリ撮影）	作り手の立場から、ジブリ映画の制作過程やジブリの日常について語る講演。	10月29日	30人
「かえってきた！魔法の美術館」展アーティスト・トーク	かえってきた！魔法の美術館	緒方壽人（takram design engineering）、藤元翔平（チームラボ / teamLab）	熊本出身の二人の出品作家によるアーティスト・トーク。映像等交えながら近作について語る。	6月25日	40人
「丸尾三兄弟 〇〇（マルオ）の食卓」展アーティスト・トーク	丸尾三兄弟 〇〇（マルオ）の食卓	丸尾三兄弟（金澤佑哉、宏紀、尚宜）、日比野克彦	展覧会や日々の制作活動について、丸尾三兄弟と、長年交流の深い日比野克彦によるトーク。	7月22日	40人
「アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本」展アーティスト・トーク	アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本	日比野克彦、村上タカシ、田中智之（出品作家）	東日本大震災や熊本地震に際して、出品作家がそれぞれの作品・活動について紹介するトーク。	3月1日	45人
コレクション展アーティストトーク「写真とは何か？」	CAMKコレクション vol.5 知っとるね？くまもとのお宝、大公開てばい！	稲原豊命、田中栄一（出品作家）	出品作家がそれぞれの作品・活動や、地震や写真表現について語るトーク。	3月5日	38人
合計			7回	253人	

(3) 講演会

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
講演会「エッシャー その作品と生涯」	だまし絵王エッシャーの挑戦状(特別展示)	安田恭子(佐世保市博物館 島瀬美術センター館長)	エッシャー作品について語る講演。 ※ 地震のため4月9日予定を延期して開催	5月28日	40人
ジブリスペシャルレクチャー① スタジオジブリの取締役によるレクチャー 「スタジオジブリの特徴とその作品について」	ジブリの立体建造物展	野中晋輔(スタジオジブリ制作業務部取締役部長)	スタジオジブリの制作に対する考え方や、制作現場の様子を語る講演。	10月8日	90人
ジブリスペシャルレクチャー② 「ジブリの立体建造物展」 企画者によるレクチャー	ジブリの立体建造物展	青木貴之(スタジオジブリ イベント事業室プロデューサー)	企画の経緯やスタジオジブリの映画制作過程について語る講演。	10月8日	62人
熊本の建物のこれから① 講演会「熊本城のこれから」	ジブリの立体建造物展	網田龍生(熊本城調査研究センター)	熊本城の震災被害の現状とその修復計画について語る講演。	11月13日	40人
熊本の建物のこれから② 講演会「城下町のこれから」	ジブリの立体建造物展	宮本茂史(新町・古町町屋研究会代表)ほか	町屋の建物としての魅力を紹介するとともに、地震後の新町・古町地区の町屋保存の取り組みについて語る講演。	11月27日	35人
熊本の建物のこれから③ 妄想会議～建物スペシャル～	ジブリの立体建造物展	藤森照信(東京都江戸東京博物館館長・本展監修者)、青木貴之(スタジオジブリ イベント事業室プロデューサー)、田中尚人(熊本大学政策創造研究教育センター)ほか	地震の被害も踏まえて、熊本の建物のこれからの自由な発想で考えるトークセッション。	12月4日	60人
審査員講演会	熊本アートパレード	ヤノベケンジ(現代美術作家)	アートパレード(市民美術展)の作品講評と、ヤノベケンジ氏自身の活動についての講演。	1月28日	40人
コレクション展特別講演会 「生人形は近代彫刻に逆襲できたか？」	CAMKコレクション vol.5 知っとるね? くまもとのお宝、大公開てばい!	小谷元彦(美術家・彫刻家)	小谷が深く興味を持つ生人形について、日本近代彫刻の歴史を独自の視点でひも解きながら考察を語る。	3月19日	60人
合 計				8回	427人

(4) プレママ&ファミリーツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
CAMKコレクション vol.5 知っとるね? くまもとのお宝、大公開てばい!	2月25日	坂本顕子(当館学芸員)	妊娠中の女性とその家族、または6才以下の子供と大人の組み合わせで、美術館や展覧会を楽しんでもらうツアー。	8人
合 計	1回			8人

(5) ナイトツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
ジブリの立体建造物展	11月17日	佐々木玄太郎、池澤茉莉(当館学芸員)	近くに勤めていても、夜まで仕事で美術館に足を運ぶ機会のない中央商店街の方々のための閉館後(20時以降)の特別ツアー。	50人
	11月24日	佐々木玄太郎、池澤茉莉(当館学芸員)		50人
合 計	2回			100人

(6) ギャラリー・トーク

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
だまし絵王エッシャーの挑戦状	1回/会期中	当館学芸員	学芸員が展覧会場を案内するツアー。	30人
CAMKコレクション vol.5 知っとるね? くまもとのお宝、大公開てばい!	3回/会期中			23人
合 計	4回			53人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第28回熊本市美術展 熊本アートパレード	15歳以上の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも出品することができる公募展 審査員：ヤノベケンジ氏(現代美術作家) 出品総数：269点	1/28~2/12(14日間)	4,904人

公益目的事業

公2：美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【平成28年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
美術館・文化芸術全般について	高橋コレクション(草間彌生、村上隆、坂本夏子、青山悟ほか)
	三沢厚彦 ほか
	熊本の歴史と未来をテーマ(石内都、宮島達男、寺田克也、瀧下和之)ほか
	特撮美術による熊本城の再現
九州又は熊本ゆかりの作家について	有田巧 稲原豊命 今田淳子 ほか
熊本ならではの文化や歴史について	生人形、菊池恵楓園、アートポリス、熊本地震関連 ほか
市収蔵作品、他館からの借用作品について	市収蔵作品(井手宣通ほか)についての調査研究
	借用作品(絵金芝居屏風絵)についての共同調査研究 ほか

公表方法	実 績		
展覧会、講演、紀要・論文等	次年度以降開催の展覧会及びそれに伴う講演会等		
	熊本市現代美術館2015年度年鑑【アートガマダスVol.15】発行		
ホームページ等(市収蔵作品)	ホームページによる公開	1,486点	
展示公開、貸出、特別利用(市収蔵作品)	熊本市現代美術館における展示公開	145点 ※ 公1-ア-2に詳細を記載	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与		5点
		横尾忠則	踊るデュシャン、弾く漱石
		横尾忠則	熊本温泉タンゴ
		横尾忠則	ノンフィニート
		堅山南風	黄昏
	宇野千里	石垣と櫓門	
	特別利用(熟覧・撮影等)		1点(撮影)
	作品画像貸出件数	安本亀八《相撲生人形》	6件
		中島千波《一心行の櫻》	2件
		井手宣通《熊本城》	1件
坂田憲雄《長六橋風景》		1件	
宇野千里《河べりの街》		1件	
松本寛庸《天の川》		1件	
松本寛庸《彗星はやぶさ》		1件	
松本寛庸《サグラダファミリア》		1件	
松本寛庸《バロック建築》		1件	
松本寛庸《さかなのオリンピック① 聖火台》		1件	
横尾忠則《踊るデュシャン、弾く漱石》		1件	
横尾忠則《熊本温泉タンゴ》	1件		
横尾忠則《ノンフィニート》	1件		
熊谷有展《育》	2件		
館内での閲覧(図書資料等)	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧		
借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供		

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内 容		点 数 等		
作品管理	市収蔵作品の管理・保管（貸出はアの公表方法に記載）		1,528点	
	市収蔵作品購入予備調査及び報告		新規作品 6点（購入）・11点（寄贈）	
	作品データ管理・整備		公開作品 1,486件	
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍（絵本、漫画等含む）	268冊	390冊
		刊行物	31冊	
		研究書（展覧会企画、調査等に利用）	79冊	
		映像資料	12本	
	図書装備	装備	4冊	138冊
		コーティング	134冊	
	図書資料データ管理	一般図書（絵本、漫画等含む）	27,087件	29,362件
		逐次刊行物	266件	
		映像資料（CD等含む）	2,009件	

公益目的事業

公3：美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業 【平成28年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1) ワークショップ

展覧会	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
アートえんにち	8月21日	藤木先生と「ふしぎなオブジェを作ろう！」ワークショップ	藤木淳	3Dプリンタで作った立体に目を混乱させる模様を描いて、ふしぎな見え方のオブジェを制作するワークショップ。「だまし絵王エッシャーの挑戦状」の出品作家でもある研究者の藤木淳氏を講師に招いた。 ※ だまし絵展関連イベントとして開催予定(4/30)だったが、地震のため延期して開催	15人
北区こどもまつり	11月12日	絵描きのアドちゃんと顔はめ看板で遊ぼう	アド	北区こどもまつりにおいて、熊本在住のアーティストのアドとともに区の顔はめ看板をつくり、遊ぶワークショップ。	200人
【アートを活かしたまちづくり事業Vol.4】 アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本展	3/1(下通) 3/18(文京区) 及び会期中随時	ハートマーク・ワークショップ	日比野克彦	下通アーケード内や、文京区の肥後細川庭園、及び展覧会場において、参加者がハートマークのマグネットをつくり、東日本の方々が熊本に向けて作って下さったハートマークと交換するワークショップ。	70人
アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本展	3月4日 11日 18日 25日	未来龍熊本大空 凧・凧制作ワークショップ	遠藤一郎	それぞれの「夢」を描いた凧をつないで連凧にし、大空にあげるプロジェクト。	100人
合計	8回				385人

(2) 市民公募型作品制作

展覧会	開催日	演題	講師等	内容	参加者数
丸尾三兄弟 O0(マルオ)の食卓	7月16日-9月11日	丸尾三兄弟 O0(マルオ)の食卓	丸尾三兄弟	熊本地震に関連して、丸尾三兄弟が制作した器をギャラリー内で配布する代わりに、持ち帰った人は、器を使った自身の食卓の風景を撮影して美術館に送り、その写真を会場に展示したものの。	300人
誉のくまもと展	募集期間(3月1日-) 4月1日-4月30日	今田淳子HIGO-ROCK!HIGO-ROCCA!(肥後六花プロジェクト)	今田淳子(出品作家)	2017年開催予定「誉のくまもと」展プレイベントとして市民から公募した古着物を素材として肥後六花を制作するプロジェクト。制作した肥後六花はエントランスに展示。(公1-ア3(1)に記載。)	8人 (総提供者32人) 85点 (総提供数350点)
合計	2回				308人

2 美術館ツアー、出張授業等

1) 美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

(1) 団体案内

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	1団体	26人
小学校	20団体	783人
中学校	4団体	96人
高校	6団体	97人
大学	6団体	161人
専門学校	3団体	160人
一般	14団体	375人
合計	54団体	1,698人

(2) 視察

団体名	開催日	市担当課等	内容	参加者数
政令指定都市区長会議	10月14日	市地域政策課	被災状況視察（美術館の被災状況報告）	70人
兵庫県議会文教常任委員会	10月31日	市議会事務局	美術館の概要と被災報告（取組・課題・今後の方向性等）	15人
政令指定都市住居表示担当者会議	11月11日	市地域政策課	被災状況視察（美術館の被災状況報告）	80人
行橋市	11月25日	—	現代美術館の運営に関する視察	10人
岡山市議会自民党	1月10日	市議会事務局	美術館の概要と被災報告（取組・課題・今後の方向性等）	6人
合計	5回			181人

2) 美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1) アートプログラム

種別	開催日	対象者	内容	参加者数
美術サロン	4月7日 6月2日 8月5日 10月13日 1月12日 3月9日	県職員等文化関係者	桜井館長による文化芸術等講義	50人
出張レクチャー	6月9日 6月10日	熊本デザイン専門学校	熊本市現代美術館に関する担当学芸員の出張授業	120人
美術講演会	8月19日	熊本ロータリークラブ	桜井館長による文化芸術等講義	100人
「芸術文化考」 レクチャー	10月28日 1月20日	熊本大学（1年-4年）	美術館や現代美術、ジブリの立体建造物展に関する講義	200人
ワークショップ「お面 をつくろう」	11月10日	西原小学校支援学級	アーティストのコーダヨーコの指導のもと、オリジナルのお面をつくるワークショップ。	31人
美術講演会	11月25日	栃木県博物館協会	桜井館長による「国際化するミュージアム」講演	80人
ワークショップ「カオ のキーホルダーをつく ろう」	12月2日	城北小学校支援学校	アーティストのコーダヨーコの指導のもと、余った木片でキーホルダーをつくるワークショップ	26人
美術講演会	12月17日	清香会	桜井館長による文化芸術等講義	80人
ワークショップ「フ リーカップをつくら う」	2月8日	田迎南小学校6年	陶芸作家、田口和代と一緒にフリーカップを作るワークショップ	86人
ワークショップ「光る 水族館をつくろう」	2月10日	城北小学校2年生、PTA	ブラックライトを使って光る水族館をつくるワークショップ	120人
レインボーマン ワークショップ 「虹色大作戦」	2月23日	城北小学校6年生、PTA	アーティスト・レインボー岡山氏と一緒に、体育館の中に親子で虹をかけるワークショップ。	120人
職業講話	3月16日	東野中学校1年生	学芸員の仕事に関する職業講話	60人
合計	19回			1,073人

(2) アートバス

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
鑑賞 ワークショップ	7月8日	芳野小学校（1-2年）	魔法の美術館展鑑賞と「光るまちを描こう」WS	22人
鑑賞 ワークショップ	10月14日	芳野小学校（3-6年）	魔法の美術館展鑑賞と「100万円札をつくろう」WS	42人
鑑賞 ワークショップ	10月20日	山本小学校（1-2年）	ジブリの立体建造物展鑑賞と「光るまちを描こう」WS	33人
鑑賞 ワークショップ	10月28日	田迎南小学校（3年）	ジブリの立体建造物展鑑賞と商店街探検	119人
鑑賞 ワークショップ	10月30日	田迎南小学校（6年）	ジブリの立体建造物展鑑賞と復興の合唱披露	88人
合計	5回			304人

(3) アウトリーチ

種 別	開催日	学校・学級	内 容	参加者数
邦楽	9月1日	池田小学校 (5年)	民謡と邦楽ワークショップ	88人
邦楽	9月13日	泉ヶ丘小学校 (1-6年)	民謡と邦楽ワークショップ	357人
クラシック	9月21日	池上小学校 (1-6年)	弦楽アンサンブルコンサート	262人
体現	10月2日	芳野中学校 (1-3年)	サンバワークショップ	40人
クラシック	10月5日	画図小学校 (1-6年)	弦楽アンサンブルコンサート	997人
体現	10月5日	城南小学校 (2-3年)	サンバワークショップ	106人
クラシック	10月6日	日吉東小学校 (1-6年)	弦楽アンサンブルコンサート	476人
体現	10月17日	田原小学校 (1-6年)	表現ワークショップ	104人
クラシック	10月18日	日吉小学校 (1-6年)	弦楽アンサンブルコンサート	423人
邦楽	10月21日	託麻南小学校 (4年)	現代邦楽コンサート	188人
クラシック	10月25日	城山小学校 (6年)	声楽ワークショップ	139人
クラシック	10月27日	春竹小学校 (1-6年)	声楽ワークショップ	540人
邦楽	11月10日	弓削小学校 (1-6年)	現代邦楽コンサート	338人
クラシック	11月11日	壺川小学校 (1-6年)	弦楽アンサンブルコンサート	407人
クラシック	11月25日	桜山中学校 (1-6年)	声楽ワークショップ	170人
邦楽	11月30日	城東小学校 (1-6年)	現代邦楽コンサート	223人
邦楽	12月2日	健軍小学校 (1-6年)	現代邦楽コンサート	660人
邦楽	1月17日	田迎小学校 (4年)	現代邦楽コンサート	76人
邦楽	1月26日	一新小学校 (4年)	民謡と邦楽ワークショップ	70人
クラシック	2月22日	城西中学校 (1-2年)	弦楽アンサンブルコンサート	135人
合 計	20回			5,799人

(4) その他

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容	参加者数
情報交換	5月27日	熊本県高等学校美術連盟	本年度の美術館事業の説明と教育普及事業のPR	50人
	6月17日	熊本県小中学校図工美術研究会	本年度の美術館事業の説明と教育普及事業のPR	30人
合 計	2回			80人

3 文化関係者等による講演会等

(1) 講演会・研修会等

演 題	開催日	連 携 機 関	内 容	参加者数
がんばろう熊本!! 特別授業 音楽プロデューサー・ ベーシスト 亀田誠治 さんになんでも聞いて みよう!	3月3日	熊本市新ホール開設準備 室	音楽プロデューサーでベーシストの亀田誠治さんが、音楽のことや日常のこと、人生のことなど、様々な疑問にお答えする特別事業。被災地の皆さんに対する真摯なメッセージも。	123人
合 計	1回			123人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
音楽	5月19日		<u>On The Corner</u> <u>Karman ～流離う音楽～ 2016</u> モンゴルやアイルランドの伝統音楽をベースに個性のかつ普遍的音楽を目指すグループ「カルマン」によるコンサート。	80人
音楽	7月23日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	<u>Great Composer Memorial Series J.S.バッハ</u> J.S.バッハの命日を記念したコンサート。熊本在住の演奏家が主に出演。	150人
音楽	7月23日		<u>JAZZ OPEN 2016</u> 中心商店街各所でおこなわれるJAZZの祭典。美術館では、ベテラントリオと女性ヴォーカリストが出演。	200人
音楽	7月29日	公益財団法人熊本県立劇場	<u>エル・システマ弦楽四重奏団</u> 佐渡裕指揮 スーパーキッズ・オーケストラ公演 こころの復興推進事業「アートキャラバンくまもと」の一環としてコンサートを開催。	630人
音楽	9月3日 9月4日 9月10日 9月11日 9月17日 9月18日 9月24日	熊本箏演奏者協会	<u>復興応援チャリティコンサート「日本のしらべ」</u> 箏や尺八、三絃等を聴いてゆっくりした時間を過ごしてもらおうというコンサートを、9月の毎週土日に開催。すずかけ台保育園や平成音楽大学が出演。	350人
音楽	9月17日	note (株式会社 ピース オブケイク)	<u>大江千里 ソロピアノ コンサート</u> <u>Music for Tomorrow in Kumamoto</u> ニューヨークを拠点に世界で活躍するジャズピアニストとして大江千里による復興支援コンサート。	150人
音楽	10月15日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	<u>EXTRAVAGANZA 2016</u> ストリート・アート・プレックスの集大成的パフォーマンスイベント。美術館では、ピアノトリオとフラメンコギタリストが演奏。	125人
音楽	10月19日	南阿蘇えほんのくに 実行委員会	<u>復興応援ピアノコンサートin第11回南阿蘇えほんのくに・笑顔をとどけるブルービーフェスタ</u> ロシアのピアニスト、ユリアンナ・アヴデーエワによるコンサート。	100人
音楽	2月10日	クマモトボッサ&ジャズ クラブ	<u>小野リサクまもと支援ライブ</u> 日本におけるボサノバミュージックの第一人者・小野リサによる、熊本地震被災者を対象とした無料ライブ。	130人
音楽劇	3月8日	Little Treeくまもと 製作委員会	<u>音楽劇「リトル・ツリー」</u> 熊本出身の絵本作家、葉祥明さんの絵本を元にした音楽劇。済々黌高校OB有志が、東京でのチャリティ公演を経て、被災地熊本の人達に笑顔を届けるために開催。	90人
パフォーマンス	3月12日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	<u>大道芸 2017</u> 中心商店街各所でおこなわれる大道芸。美術館では、マネキンアートとクラウンのパフォーマンスを開催。	120人
音楽	3月17日	公益財団法人熊本県立劇場	<u>ヤマカズが贈るミニコンサート in GAMK</u> こころの復興推進事業「アートキャラバンくまもと」の一環として、世界的指揮者のヤマカズこと山田和樹さんのピアノ演奏と、シエナ・ウインド・オーケストラ ビッコロ・フルート奏者の西田紀子さんのトーク&ミニコンサートを開催。	90人
音楽	3月19日	オハイエくまもと とっておきの音楽祭実行 委員会	<u>オハイエくまもと第8回とっておきの音楽祭</u> 障がいのある人もない人も一緒に街中で音楽を楽しみ、音楽の力で「心のバリアフリー」を目指す音楽祭。	150人
音楽	3月25日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	<u>Great Composer Memorial Series ベートーヴェン、ドビュッシー、ラフマニノフ</u> 熊本在住の若手演奏家による偉大な作曲家3名の曲のコンサート。	120人
合計	20回			2,485人

2 フリーペーパーの発行等

内 容	詳 細
アート・キッス・レター	美術館の活動報告や、地元展覧会のレビュー等を掲載 通年で4号（77-80号）発行

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築（アートでつながる交流・連携）

- 1) 行政とともに行政推進・補充のための政策課題の解決
- 2) 市民とともに行政分野（まちづくり、福祉、教育等）の課題解決
 - (1) 文化活動支援

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
文化事業に関する会議	6月29日	熊本市文化振興課	これからの熊本市の文化政策及び文化事業（芸術文化会議）に関する打合せ
	7月4日		
	7月26日		
	7月29日		
	8月8日		
	11月16日		
	12月1日		
	2月7日		
	2月8日		
	2月28日		
	3月9日		
芸術文化会議	8月1日	熊本市文化振興課	熊本市の芸術文化のあり方と分か政策について検討する会議
	11月9日		
	2月22日		
熊本市地域文化創造協議会	8月12日	熊本市文化振興課	熊本市内のホール、文化団体等による協議会 （10月22日に熊本市民会館で開催された、地域創造文化祭への協力）
	10月3日		
	10月22日		
くまもと大邦楽祭	11月18日	熊本市文化振興課	くまもと大邦楽祭実行委員会（熊本市・熊本県文化協会）への協力 （11月25日に熊本市植木文化ホールで行われた、くまもと大邦楽祭2016への協力）
	11月25日		
甲斐青萍画集出版実行委員会	7月14日	熊本大学五高記念館 熊本県立美術館 熊本市立熊本博物館外	熊本の町並みを描き続けた明治生まれの日本画家、甲斐青萍の画集を出版するための実行委員会。 地震後、更に大きな意味を持ち、3月には出版が実現。 平成29年度4月から6月にかけては、島田美術館での展覧会開催も決定。
	8月29日		
	1月16日		
	2月8日		

(2) ネットワーク構築

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
熊本県立美術館 友の会	-	県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営
グレーの会	6月28日 3月22日	県立美術館 不知火美術館 坂本善三美術館 つなぎ美術館	・不知火美術館の被災状況の視察と情報交換（6月） ・地域創造「公立美術館研修」計画にあたっての事前打合わせ（3月）
全国美術館会議	5月26日	九州国立博物館 福岡アジア美術館 福岡県立美術館 福岡市美術館	総会（地震報告）公3 4（1）に再掲
美術館連絡協議会	5月19日	全国公立美術館	理事会（地震報告）公3 4（1）に再掲
	6月5日		企画会議
	6月6日		企画会議
	9月15日		企画委員会
	10月26日		理事会
	10月27日		総会
	2月16日		審査委員会
	3月23日		企画委員会
熊本県文化協会	4月6日	県内の文化関係団体と 市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業
	5月11日		
	8月22日		
	9月12日		
	10月5日		
	11月21日		
	12月8日		
	1月11日		
2月8日			
熊本県文化懇話会	6月8日		芸術文化に携わる方々の情報交換

(3) 審査・表彰

審査対象	開催日	主催者	内 容
アーティストin阿蘇	地震により中止	熊本県	阿蘇地域を国際的にPRするための若手芸術家レジデンス事業（4月11日打合せのみ実施）
新たな芸術文化発掘事業（ヌーベル・ヴァーグくまもと）	地震により中止	熊本県	熊本県をベースに活動する新たなジャンルの芸術家やコーディネーターを発掘・支援する事業（打合せのみ実施）
八朔祭出品作品	9月10日	山都町八朔祭実行委員会	八朔祭に出品されたつくりものの審査
まちなかコレクション in KUMAMOTO 2016 コンペ	9月13日	市産業振興課	ファッションで街を元気にするためのイベントの企画コンペの審査
障がい者週間ポスター	9月13日	市障がい保健福祉課	障がい者週間ポスター（中学生の部・小学生の部）の応募作品の審査
第13回田山淳朗賞高校生ファッション画コンテストin九州・沖縄	10月15日	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏を審査員に迎え、九州・沖縄の高校生を対象にしたファッション画コンクールへの協力・講評・表彰等
新美術公募展「くまもと『描く力』」応募作品	10月16日 11月3日	熊本日日新聞社	熊本から描く力を発信するための絵画の公募展の審査
くまもと県民文化賞	11月11日 12月12日	熊本県	地域の文化振興に貢献している活動者の選考審査・授賞式
熊本県高等学校美術展	12月8日 12月12日	熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会	九州大会や全国大会の選考も兼ねた熊本県内の高校生の美術作品審査・表彰
合 計	10回		

(4) まちづくり協力

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
コンドルズと遊ぼう～ 映画のあとはダンスだ よ☆	5月28日	公益財団法人 熊本県立劇場	熊本県立劇場のこころの復興推進事業「アートキャラバンくまもと」との共催事業 ダンス集団「コンドルズ」による、親子で身体を動かすワークショップ	40人
熊本復興応援 マッチフラッグ ワークショップ in KUMAMOTO	7月10日	下通繁栄会	アーティスト日比野克彦によるアートとサッカーを融合したアートプロジェクト。今回は、熊本の復興と熊本のサッカーチーム、ロアッソを応援するために下通アーケードで4枚のフラッグを作成し、その後、美術館で展示	200人
熊本地震復興イベント 7月16日(土)は水前寺 で遊ぼう!	7月16日	水前寺活性化プロジェクトチーム	玄宅寺の閻魔大王のご本尊と地獄絵図のご開帳に合わせて、地震で一時期水が涸れてしまった際に、開園を手伝ってくれた皆さんにありがとうございますの気持ちを込めた水前寺の絵を、子ども達と一緒に作成。	30人
こどもおもしろおばけ 屋敷	7月28日- 8月7日	火の国まつり実行委員会 (市にぎわい推進室)	火の国まつりの開催にあわせ、街なかの賑わい創出のために実施したおばけ屋敷の準備、運営等に協力	2,566人
城下町くまもと ゆかた祭	6月2日	熊本市中心商店街等 連合協議会	中心商店街の賑わい創出のために実施されている城下町くまもとゆかた祭開催に向けた会議 (8月24日は反省会)	-
	6月16日			
	6月29日			
	8月12日			
	7月30日			
	7月31日		ゆかたで来館の方に展覧会半額等サービス *ゆかた着用来館者227名 (うち展覧会入場147名)	来館者5,078人
美術家 金氏徹平ワーク ショップ	8月8日	公益財団法人 熊本県立劇場	熊本県立劇場主催の演劇『わかったさんのクッキー』熊本公演の関連企画として金氏徹平さんのワークショップを共催	15人
上通 アートプロジェクト がんばるばい! 上通チャリティ 演劇まつり	8月12日 8月13日 8月14日	上通商栄会 劇団きらら	昨年度大好評だった上通演劇まつり。熊本地震を受けて、急遽今年度もチャリティ公演を行うことを決定。熊本、九州、東京の6劇団とパフォーマーを一堂に会し、上通アーケードと現代美術館で3日間の演劇尽くし公演を実施した。 12日は前夜祭として、インタビュー映像と朗読劇『あの日、あとき上通』公演 13日、14日はアーケード劇場でのパフォーマンスやコント、げんび劇場での短劇を開催 ※ 参加者数はげんび劇場のみ	490人
	7月6日 8月8日 8月11日		上通アートプロジェクト(2016年度) 打ち合わせ (8月11日は設営、リハーサル)	-
上通 アートプロジェクト 江口寿史 KING OF POP	9月22日 -11月6日	上通商栄会 崇城大学他	熊本出身のマンガ家、江口寿史の展覧会を、現代美術館(井手宣通記念ギャラリー)、長崎書店(リトルスターホール)の他、上通の35店舗を使って開催。会期中はウォークラリーでアーケードの回遊性を高めるほか、サイン会、ライブスケッチなど様々な催し物を開催 ※ 参加者数は美術館と長崎書店のみ ・美術館 10,095人/長崎書店 2,565人	12,660人
	6月7日		上通アートプロジェクト(2016年度)打合せ (12月13日は反省会)	-
	6月14日			
	7月29日			
	8月10日			
	8月19日			
	9月1日			
	9月17日			
	9月28日			
	12月13日			
城下町くまもと 銀杏祭	8月24日	熊本市中心商店街等 連合協議会	中心商店街の賑わい創出のために実施されている城下町くまもと銀杏祭開催に向けた会議 (10月24日は反省会)	-
	9月9日			
	9月26日			
	10月24日			
	10月8日 10月9日		上通独自イベントとして、アーケード内で江口寿史展関連イベントを実施 ・江口寿史サイン会(10月8日)100名 ・列島横断!ライブスケッチ 20名	120人
中央区まちづくり 懇話会	8月10日	熊本市中央区	中央区まちづくり懇話会	-
	11月8日			
合計				21,199人

4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための会議、講演会等

(1) 美術館が行うクリエイティブなまちづくり研究

種別	開催日	主催・共催者	内容	参加者数
美術館連絡協議会理事会	5月19日	美術館連絡協議会	元々予定されていた美術館連絡協議会理事会において、熊本の地震の状況や、美術館の再開に向けた活動について発表を行った。	30人
「みんなをまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業第1回全体会議	5月25日	「みんなをまもる文化財みんなをまもるミュージアム」実行委員会	当初予定していた前年度報告や今年度計画に加え、4月に発生した熊本地震の現状と対応について、県博物館ネットワークセンター、市博物館、当館から発表を行った。	50人
全国美術館会議総会	5月26日	全国美術館会議	美術館の復旧等に関する支援に向けて当初から情報収集していた全国美術館会議の総会において、熊本の地震の状況や、美術館の再開に向けた活動について発表を行った。	250人
熊本地震復興妄想会議	6月16日	くまもつと市裏総合計画デザインプロジェクト	熊本地震前から実施していた「熊本市裏総合計画・妄想会議」を元に、熊本地震からの復興に向けて何が出来るか、妄想を膨らませてみようというワークショップを実施。	32人
熊本県立美術館40周年記念シンポジウム 学芸員パネリスト登壇	10月1日	熊本県立美術館	熊本県立美術館開館40周年を記念したシンポジウムにおいて、大学教授、地元マスコミ、アーティスト等とともに登壇。地域における美術館の在り方や教育活動についてコメント。	50人
「Local Prospects 2」展関連イベント「九州と震災とアート」パネリスト登壇	11月6日	三菱地所アルティアム	三菱地所アルティアムで開催された九州をテーマとした展覧会において、熊本地震と美術館活動について、アートマネージャー、写真家らとともにレクチャーを行う。	20人
「みんなをまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業第2回研修会	2月1日	「みんなをまもる文化財みんなをまもるミュージアム」実行委員会	熊本地震被災地において、収蔵品展示施設の地震災害対策の基本を学ぶ研修会。日常的な管理の大切さや免震装置等による展示作品の転倒、落下防止策などを学ぶ中で、当館の活動事例を報告、パネルディスカッションを行う	61人
日博協研究協議会 博物館の危機管理 ～大規模災害と博物館～	2月23日、24日	日本博物館協会	熊本地震発災後の現地における文化財レスキュー活動の実態と被災した博物館施設の対応、現状の課題等について検証する協議会で、当館の事例を報告、パネルディスカッションを行う	80人
がんばろうと思える評価の仕組みづくり研究	7月22日	熊本市文化振興課	<p>(一財) 地域創造の助成金を受けた、職員ががんばろうと思える評価の仕組みづくりの研究事業。</p> <p>外部相談員（吉本光宏、山出淳也、原幸代子）を迎えての相談（8月1日、11月9日、2月22日）や、熊本市文化振興課との情報共有（8月10日、10月19日、11月17日、12月7日、2月9日）を実施。熊本地震の発災によって、より美術館の役割や使命について深く考えるきっかけとなった。</p>	—
	7月28日			
	8月1日			
	8月10日			
	8月31日			
	9月9日			
	9月13日			
	9月15日			
	9月23日			
	10月19日			
	11月9日			
	11月16日			
	11月17日			
	11月28日			
	12月7日			
	12月20日			
	12月29日			
1月23日				
1月27日				
2月9日				
2月22日				
3月2日				
3月6日				
3月23日				
合計	33回	※評価の仕組みづくりは外部相談員との協議のみカウント		573人